

## 新技術等登録申請用紙

受付 No <sup>※1</sup>	MA250806-48		申請年月日 <sup>※1</sup>	平成25年8月6日		
開発者等	会社名	株式会社 ニッコン		担当部署	建材事業部開発営業課	
	住所	鳥取県米子市安倍200番地1 (平成ビル)		担当者	足立和美	
	TEL	0859-29-5511		FAX	0859-29-4411	
	E-mail	adachi@nikkon-co.jp		URL:	<a href="http://www.nikkon-co.jp/">http://www.nikkon-co.jp/</a>	
	共同開発の会社名	株式会社ホクコン、和光産業株式会社		開発年月	平成25年8月	
新技術名称	防草型歩車道境界ブロック					
概要	<p>歩車道境界ブロックと舗装の境目に生える雑草の駆除費用が、各自治体道路管理者にとって負担となっている。以前より役所営業するなかで「あの雑草をなんとか生えなくする方法はないか」という声を聞いていたが、なかなか解決方法を見出せなかった。</p> <p>取引のある九州のコンクリート二次製品メーカーが「防草」を目的とした製品を開発しており、その特許の実施権を取得するとともに、鳥取県仕様のBSC1P型に合わせて開発した製品が『防草型歩車道境界ブロック』である。</p> <p>歩車道境界ブロックと舗装の境目に雑草が生える仕組みは、温度変化、車両の通過による振動、経年等によりブロックと舗装の境目に隙間が出来る事で、雑草の種子や泥が入り込み根付くことにある。</p> <p>本製品はBSC1P型歩車道境界ブロックの車道、歩道側上端部に凹凸を設ける事により、その先にある舗装とガッチリとかみ合い隙間が生じにくる事で雑草の種子や泥が入らないようにし、雑草の生育を防ぐことが出来る。</p>					
分類 (該当欄に○)	工法	施工機械	材料	製品		
				○		
新技術等の対象条件 (該当欄に○)	ア 県内に存在する本支店や製造工場により開発されたもの				○	
	イ 主として県内産資材を使用し、県内に存在する製造工場により生産されたもの				○	
活用効果	比較する従来技術		歩車道境界ブロック BSC1型			
項目	活用の効果			比較の根拠		
機能性	向上	同程度	低下	従来製品にない防草機能付きである。		
耐久性	向上	同程度	低下	従来製品とコンクリートの配合は同じであり同程度。		
施工性	向上	同程度	低下	現場での生コンの打設、養生が不要である。		
安全性	向上	同程度	低下	施工時における安全性は変わらず、同程度である。		
施工時の自然環境への影響	低下	同程度	増加	生コン車を使用しない分環境にはやさしい。		
コスト縮減	向上(%)	同程度	低下(18.4%)	従来の現場での生コン打設部分も二次製品化するため、製品のコストだけをみればアップする。		
工程	向上(52.6%)	同程度	増加(%)	現場での生コン打設、養生の工程がなくなり向上する。		
施工実績  (施工実績が多い場合は直近の工事3件を記載し、その他は別紙とすること。)	県内公共工事 5件			県外公共工事 0件		
	発注者名	工事名	工期	発注者名	工事名	工期
	西部総合事務所	県道米子環状線(霞津和田工区)舗装工事(防災安全交付金)	2014/11/8			
	西部総合事務所	国道431号(大篠津和田工区)歩道設置工事(2工区)(防災安全交付金)	2014/2/24			
西部総合事務所	国道431号(日吉津工区)交差点改良工事(3工区)	2013/10/31				
国関係機関による技術審査証明や評価 <sup>※2</sup>	制度名			証明機関		
	名称及び番号			証明年月日		
その他機関による証明や評価	制度名			証明機関		
	名称及び番号			証明年月日		
特許、実用新案	名称及び特許番号			取得年月日		
NETIS登録	名称及び登録番号			登録年月日		

特 徴			
<b>■長 所</b> ①. 雑草を生やさないことで、「景観が良くなり道路環境の改善」になる。 ②. 維持管理に要する「草刈り費用が削減」される。 ③. 従来の現場打ち部分を一体化した製品のため、施工性が良い。			
<b>■短 所</b> 全体をプレキャスト化するため、従来製品と比較し施工歩掛が割高である。			
適用条件			
<b>■適用可能な範囲</b> 鳥取県型歩車道境界ブロックの(フラットタイプ)BSC1型構造のみに適用できる。			
<b>■適用できない範囲</b> 鳥取県型歩車道境界ブロック(マウンドアップタイプ)BSC2型、(セミフラットタイプ)BSC3型の構造には適用できない。			
留意事項			
<b>■設計時</b> 現場の車道・歩道の構造を確認する必要がある。			
<b>■施工時</b> 舗装時、製品の凹凸部の溝にゴミ・土砂・水等が溜まっていればそれを排除してから舗装する。			
<b>■維持管理時</b> 特になし。			
従来技術との施工単価の比較			
新技術:11,914円/m当たり 従来技術:10,059円/m当たり【添付資料①】			
施工歩掛	<input checked="" type="checkbox"/> 県土木工事標準積算基準書(路側工 IV-2-④-1) <input type="checkbox"/> その他公的機関が制定した基準 (基準名: ) <input type="checkbox"/> 協会歩掛(協会名: ) <input type="checkbox"/> カタログ歩掛、 <input type="checkbox"/> 無	材料単価	<input type="checkbox"/> 掲載あり ( <input type="checkbox"/> 建設物価、 <input type="checkbox"/> 積算資料) <input checked="" type="checkbox"/> 無
残された課題と今後の開発計画			
BSC2型構造への対応と、国土交通省型への対応を今後検討したい。			
添付資料			
資料-1 パンフレット	資料-5 施工実績表	資料-6 使用材料承認願	資料-7 工法概要・日本雑草防止工法研究会
資料-2 施工単価比較表	資料-6 使用材料承認願	資料-7 工法概要・日本雑草防止工法研究会	資料-8 県内企業確認書(履歴事項全部証明書)
資料-3 施工単価代価表低	資料-7 工法概要・日本雑草防止工法研究会		
資料-4 施工フロー	資料-8 県内企業確認書(履歴事項全部証明書)		

※1 は記入しないでください。

※2 新技術情報提供システム(NETIS)の場合、事後評価を受けたものが対象となります(登録のみは対象外)。

※ 記入欄が不足する場合は、別紙として添付してください。

歩車道境界ブロックと舗装の境目に繁茂する雑草

# 防草型歩車道境界ブロック

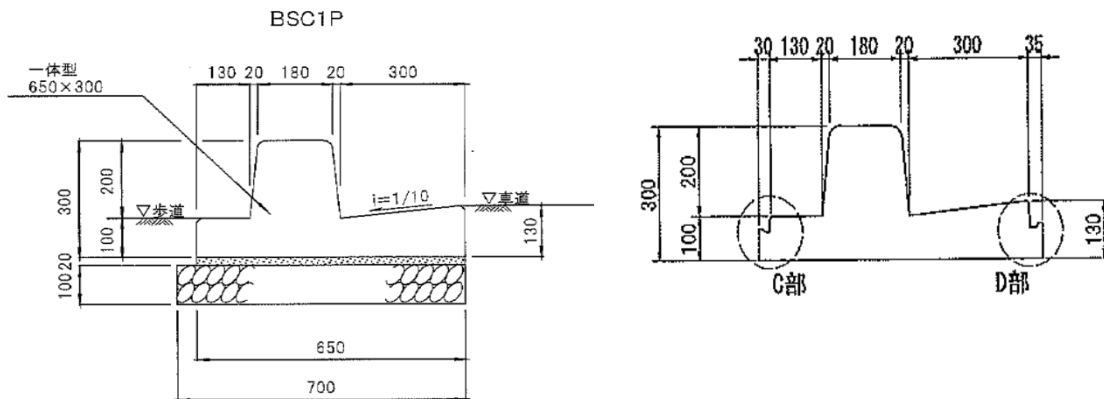
道路に繁茂する雑草を「しかたない」とあきらめていませんか？



雑草の成長を強力に阻止します



国道431号(大篠津和田工区)歩道設置工事で施工中の防草型歩車道境界ブロック  
鳥取県新技術・新工法の試験施工対象新技術として着実に実績を上げています



鳥取県型BSC1Pに準拠した製品です

歩車道境界ブロックと舗装の境目から雑草が生える原因は、その多くがブロックと舗装が温度変化や車の振動で肌別れし、そこに雑草の種子が入り込んだり下から伸びた芽が出てきて成長するためです。

防草型歩車道境界ブロックは凸部でガッチリ舗装を掴み隙間を開けさせない構造になっています。

日本雑草防止工法研究会会員

## 株式会社 ニッコン

本社 〒683-0846 米子市安倍200番地1(平成ビル) ☎ 0859-29-5511  
倉吉営業所 〒682-0802 倉吉市巖城町181番地 ☎ 0858-22-4611  
鳥取営業所 〒680-0914 鳥取市緑ヶ丘2丁目76番地 ☎ 0857-27-3911